

## 2026年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

国際日本学研究科 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目【日本語学・日本語教育学研究領域】

---

注意 1) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。

(例 I-(1)、II-(2) )

注意 2) 希望指導教員の所属する研究領域の問題を解答すること。

### I. 論述問題

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい (字数の制限はありません)。

(1) 形式名詞には意味の漂白化が起こる語が少ない。また、意味が漂白化した形式名詞が複合辞として用いられることがある。そこで、①意味の漂白化とはどのような現象か、例を挙げて説明しなさい。また、②意味が漂白化した形式名詞が含まれる複合辞を複数例示しなさい。その上で、③②で挙げた複合辞の習得の難しさについて、論じなさい。

(2) 敬語の分類には、文化庁が2007年に発表した尊敬語・謙譲語等の五分類もあるが、話題の人物と対話相手に顧慮する素材敬語と対者敬語の二分類もある。そこで、①文化庁の五分類とは何か、②素材敬語と対者敬語とは何か、をそれぞれ説明しなさい。その上で、③第二言語としての日本語の習得における、素材敬語と対者敬語の組み合わせの難しさについて、例を挙げながら論じなさい。

### II. 解説問題

次の(1)～(4)の中から2つを選んで、解説しなさい (字数の制限はありません)。

- (1) デイスコース・マーカ
- (2) 遂行動詞
- (3) 語彙的複合動詞
- (4) 間接発話行為